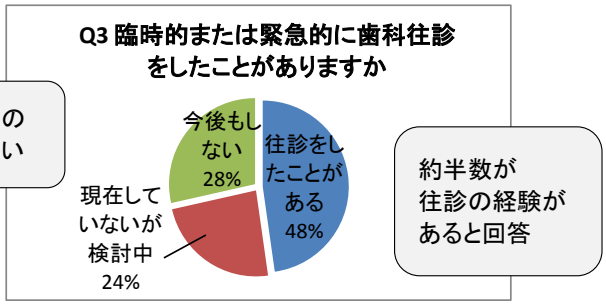
在宅医療に関するアンケート回答まとめ【歯科医師会】

対象：泉州圏域歯科医師会に所属する歯科診療所
配布：382
回収：314（82.2%）

※は複数回答可の項目

Q3　臨時的または緊急的に歯科往診をしたことがありますか。

回答	数
往診をしたことがある	149
現在していないが検討中	74
今後もしない	89

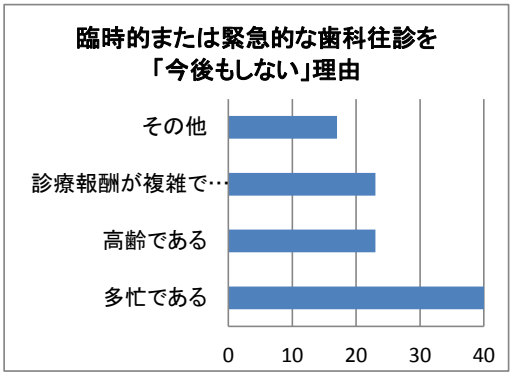


「検討中」の割合が多い

約半数が往診の経験があると回答

臨時的または緊急的な歯科往診を「今後もしない」理由※

回答	数
多忙である	40
高齢である	23
診療報酬が複雑で分からない	23
その他	17



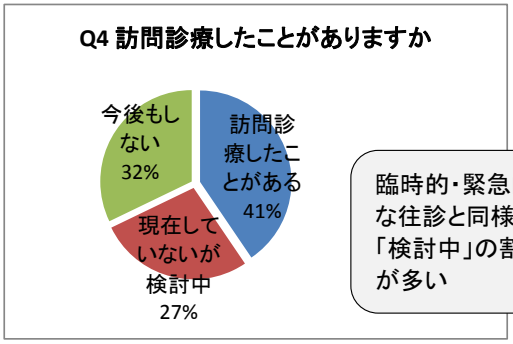
今後もしない「その他」の主な理由※

回答	数
従事者の体調不良	5
歯科衛生士の不足	2
往診用の器材がない	2
矯正歯科のため	2
往診では納得できる治療を行えない	2
時間に余裕がない	2
自院のかかりつけ患者のみ	1
需要がない	1

今後もしない「その他」理由は、
・歯科衛生士の不足
・納得できる治療を行えない
・器材がない
など歯科独自の意見がみられた

Q4　訪問歯科診療したことがありますか。（施設への訪問も含む）

回答	数
訪問診療したことがある	126
現在していないが検討中	85
今後もしない	100

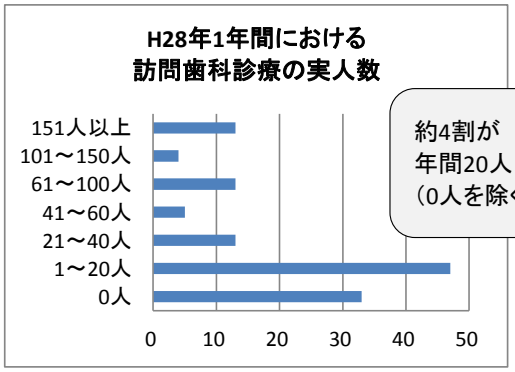


臨時的・緊急的な往診と同様に、「検討中」の割合が多い

「訪問歯科診療したことがある」施設の平成28年1年間での訪問歯科診療の実人数

回答	数
全体延べ実人数	7927
一施設あたりの平均実人数	62.9

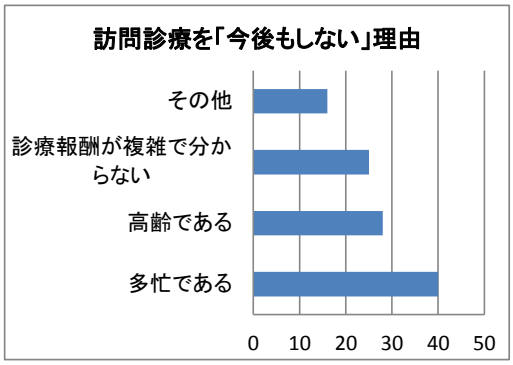
人数別	数
0人	33
1～20人	47
21～40人	13
41～60人	5
61～100人	13
101～150人	4
151人以上	13



約4割が
年間20人以下
（0人を除く）

訪問診療を「今後もしない」理由※

回答	数
多忙である	40
高齢である	28
診療報酬が複雑で分からない	25
その他	16



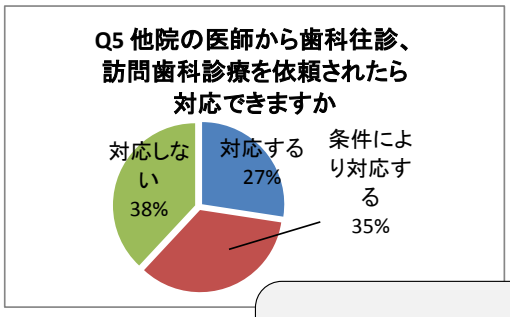
訪問歯科診療を今後もしない「その他」の理由※

回答	数
従事者の体調不良	6
歯科衛生士の不足	2
訪問用の器材がない	2
矯正歯科のため	2
訪問では納得できる治療を行えない	1
自院のかかりつけ患者のみ	1
体制が整っていない	1

Q3 臨時的・緊急的に歯科往診しない「その他」理由と同様の回答が多くみられた

Q5 他院の医師から歯科往診・訪問歯科診療を依頼された場合は対応できますか。

回答	数
対応する	85
条件により対応する	107
対応しない	118



「条件により対応する」を含めた約6割以上が対応すると回答している

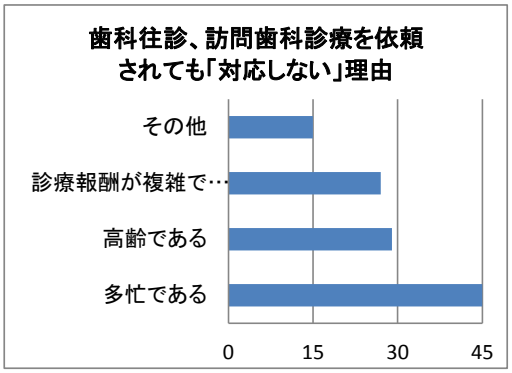
「条件により対応する」と回答した条件※

回答	数
日時の都合が合えば	33
診療、処置内容	29
距離が近ければ	13
自院受診歴の有無	5
自院かかりつけ患者	2
往診、訪問用の器材がない	2
患者の状態による	2
歯科衛生士が確保できれば	2
緊急の場合	1
需用があれば	1
従事者の体調が良くなれば	1
制度が分かれば	1

「条件により対応する」の意見では医師会と同様に
・日時
・診療、処置内容
・距離
が多くみられた

「対応しない」理由※

回答	数
多忙である	45
高齢である	29
診療報酬が複雑で分からない	27
その他	15

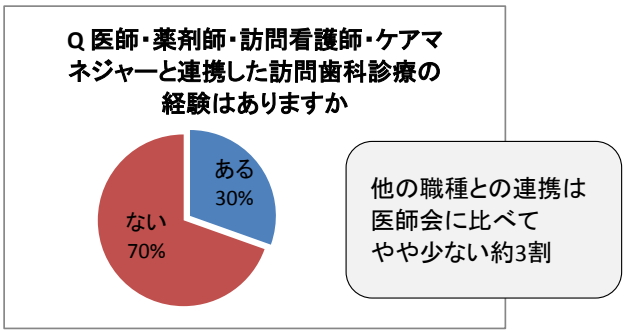


対応しない「その他」の理由※

回答	数
従事者の体調不良	3
往診、訪問用の器材がない	2
他院を紹介する	2
マンパワー問題	2
移動手段がない	1
納得できる治療を行えない	1
矯正歯科のため	1
体制が整っていない	1

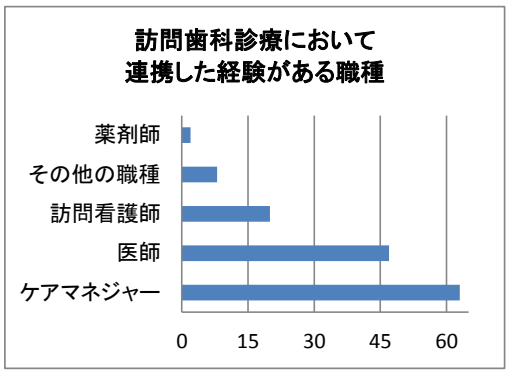
Q6 医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャーと連携した訪問診療の経験はありますか。

回答	数
ある	95
ない	217



連携した経験がある職種※

回答	数
ケアマネジャー	63
医師	47
訪問看護師	20
その他の職種	8
薬剤師	2



連携した経験がある「医師」の診療科※

回答	数
内科	21
整形外科	2
腫瘍内科	1
放射線科	1
老年化	1
ペインクリニック科	1
脳神経外科	1
神経内科	1
循環器内科	1
精神科	1
血液内科	1

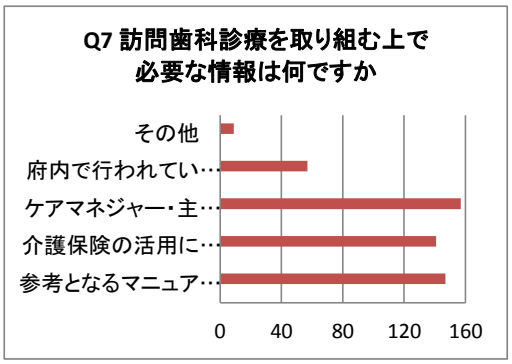
連携した経験がある「その他の職種」※

回答	数
歯科衛生士	2
ヘルパー	2
特別養護老人ホーム職員	1
病院職員	1
介護福祉士	1
理学療法士	1
作業療法士	1
言語聴覚士	1

Q7 訪問歯科診療を取り組む上で必要な情報は何ですか。

※

回答	数
参考となるマニュアルの紹介	147
介護保険の活用に関するわかりやすい説明	141
ケアマネジャー・主治医・訪問看護師等、他職種との具体的な連携方法	157
府内で行われている研修の情報	57
その他	9



訪問歯科診療を取り組む上で必要な「その他の情報」※

回答
受診者と家族の意向
先進的に取り組んでいる地域のノウハウ